

●巻頭エッセイ・春夏秋冬

しゅんかしゅうとう

国会傍聴一七年から学んだこと ―― アジアの視点に立って、共に励もう
海外にあっても朴政権打倒の主体になる
ロシア革命一〇〇年と今日 ―― 平和の布石から「日本国憲法」へ

平和連合会 全国連絡会代表
在日韓国民主女性会 横濱国立大学 名誉教授
小川コリア文化 交流会
西川重則 金子好子 木村英亮 李相祚

〈特集I〉変革の礎きなく労働者通信運動

「きみは先頭に立たなければならぬ」
―労働者通信運動の二度目の呼びかけ―
いまなぜ労働者通信運動か
〈労働者通信運動の二度目の呼びかけ〉をめぐる討論

文化運動 活動家
井野茂雄
〈活動家集団 思想運動〉労働運動部
会全国会議参加者

労働者通信を真に有効な武器とするために

石黒英男

中東情勢を改憲の口実にする非リアリズム

柿山朗

バス転籍問題に始まる相模鉄道の不当事業行為

宮川敏一

〈労働者通信〉―労働・生活・闘争の現場から―

裁判所速記官のとりにくみ実る ―― 電子速記タイプライターで二歩前進
前近代的労使関係との決別 ―― プリントバック社の「安さ」と「早さ」を支えたもの
介護の沙汰も金次第 ―― 事業所泣かせもてーげーに
卑屈な笑い ―― ある契約更新面接の光景

国公務連 全司法労働組合 全印総連京都 地連オールド 介護労働者 ホテル従業員
藤本愛子 奥田雅雄 伊藤龍哉 司隆介 伊藤龍哉

〈インターナショナル・レビュー〉 ●ギリシャ共産党第20回大会の活動が成功裏に完了 ●ギリシャ共産党第20回大会に送った活動家集団 思想運動常任運営委員会の連帯メッセージ ●国際連帯メッセージ 2017国際婦人デー3・4東京集会宛て ●世界労働書記局(ギリシャ・アテネ) ●労働社会科学研究所(韓国) ●在日朝鮮民主女性同盟中央本部 ●朴槿恵は退陣した! しかし真の勝利者はまだ労働者民衆ではない(韓国・全国労働者政治協会) ●国連の対朝鮮「制裁決議」の犯罪的真相を暴く(朝鮮法律家委員会白書)

〈ヘイト・スピーチと闘うために〉 ●「帝国」と「国際協力」のはざま

国際人権法は役に立つのか

前田朗

〈特集II〉女性が平和のたたかいの先頭に立ちよう

進行する戦争体制と女性のたたかい 2017国際婦人デー東京集会基調報告 3・4東京集会実行委員
だれが国際社会を作っているのか? 大國の支配層が、全大陸に生きる諸国民が

国際交流 平和フォーラム
倉田智恵子 富山栄子

〈状況2017春〉

労働 ―― 長時間労働根絶は職場・地域の闘いから
女性 ―― 自民党改憲草案のねらい ―― 第二四条の行く末

労基法改悪・労働基準監督 自治体 業務の民間委託を許すな 労働者 編集者
吉良寛 武井美子

読書ノート 石川逸子著『道昭』 ―― 三蔵法師から禅を 直伝された僧の生涯
渥美 博著『封殺されたもうひとつの近代』 ―― 透谷と啄木の 足跡を尋ねて
浅井春夫著『沖繩戦と孤児院』 ―― 戦場の子どもたち

編集者 歌人 編集者
渥美博 加部洋祐 小松厚子

革命運動史の忘れがたい一齣

井上敏夫

啄木の転回 ―― 一九二〇年

渥美博

現代の革命は社会主義革命、プロレタリア独裁が根幹
―『社会評論』一八七号「ヨルゴス・マリノス報告」を読んで―

国際政治 研究
沖江和博

〈短歌〉 かなしみの疵

荒川源吾

〈川柳／笑歌〉 さくら さくら

笑い茸

〈文庫発掘〉 『経済原論』宇野弘蔵著 二瓶一夫 125
『ミツバチのささやき』ピクトル・監督 遠藤裕二 85

〈連載〉 今中哲二 113
波来土の漫画館 15
イラスト通信 11

〈原発事故被災者の声〉 16 國分富夫 43
金野正晴 113
波来土 96
広浜綾子 33

〈発言台〉 相模原障害者施設殺害事件についての省察 ―― 内なる差別意識を超えて
資本主義の危機から社会主義を考える ―― 『社会評論』一八七号を読んで考えたこと
黄色いバナナ ―― つねに真実を問うことが大事

大学教員 民間労働者 朝鮮大学校 学生
白石ゆう子 廣野茅乃 鄭利香

〈表紙の絵について〉 金山明子 19
読者会から 東京西部 174

〈デザイナーの独り言〉 追川恵子 176
編集後記 176

